



着信 RSH および RCP 要求の ACL 認証

機能の履歴

リリース	変更点
12.2(8)T	この機能が導入されました。

このマニュアルでは、Cisco IOS Release 12.2(8)T の着信 RSH および RCP 要求の ACL 認証機能について説明します。次の項で構成されています。

- 「機能の概要」(P.1)
- 「サポートされているプラットフォーム」(P.2)
- 「コマンドリファレンス」(P.3)

機能の概要

Cisco IOS ソフトウェアをイネーブルにして着信 Remote Shell (RSH; リモート シェル) プロトコルおよび Remote Copy Protocol (RCP; リモート コピー プロトコル) 要求を受信するには、認証データベースを設定して、ルータへのアクセスを制御する必要があります。この設定は **ip rcmd remote-host** コマンドを使用して実行できます。

現在、このコマンドを使用するときには、データベース認証コンフィギュレーションでローカル ユーザ、リモート ホスト、およびリモート ユーザを指定する必要があります。複数ホストからルータへのコマンドを実行できる場合は、次に示す各ホストにつき 1 つずつ、複数データベース認証コンフィギュレーション エントリを使用する必要があります。

```
ip rcmd remote-host local-user1 remote-host1 remote-user1
ip rcmd remote-host local-user1 remote-host2 remote-user1
ip rcmd remote-host local-user1 remote-host3 remote-user1
ip rcmd remote-host local-user1 remote-host4 remote-user1
```

この機能では、指定されたユーザのアクセス リストを指定できます。アクセス リストはユーザがアクセスできるホストを指定します。追加された新しい引数 *access-list* をこのコマンドとともに使用して、次のようにアクセス リストを指定できます。

```
ip rcmd remote-host local-user1 access-list remote-user1
```



アクセスリストで指定したホストへのアクセスをユーザに許可するには、まずアクセスリストを定義します。アクセスリストが定義されていない場合は、ホストへのアクセスは拒否されます。アクセスリストの定義については、『*Cisco IOS Security Configuration Guide, Release 12.2*』を参照してください。

修正された **ip rcmd remote-host** コマンドの使用については、このマニュアルの後半の「[コマンドリファレンス](#)」の項を参照してください。

関連資料

- 『*Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference, Release 12.2*』
- 『*Cisco IOS Security Configuration Guide, Release 12.2*』
- 『*Cisco IOS Security Command Reference, Release 12.2*』

サポートされているプラットフォーム

- Cisco 805
- Cisco 806
- Cisco 828
- Cisco 1400 シリーズ
- Cisco 1600 シリーズ
- Cisco 1710
- Cisco 1720
- Cisco 1721
- Cisco 1750
- Cisco 1751
- Cisco 2420
- Cisco 3620
- Cisco 3631
- Cisco 3640
- Cisco 3660
- Cisco 3725
- Cisco 3745
- Cisco 2500 シリーズ
- Cisco 2600 シリーズ
- Cisco 7100 シリーズ
- Cisco 7200 シリーズ
- Cisco 7500 シリーズ
- Cisco uBR7200 シリーズ
- Cisco Voice Gateway 200
- Universal Route Module (URM)

Cisco Feature Navigator を使用したプラットフォーム サポートの特定

Cisco IOS ソフトウェアは、特定のプラットフォームがサポートされている機能セットにパッケージングされています。この機能のプラットフォーム サポートに関連した更新情報を取得するには、Cisco Feature Navigator にアクセスします。新しいプラットフォーム サポートが機能に追加されると、Cisco Feature Navigator によって、サポートされているプラットフォームのリストが自動的に更新されます。

Cisco Feature Navigator は Web ベースのツールであり、特定の機能セットがサポートされている Cisco IOS ソフトウェア イメージ、および、特定の Cisco IOS イメージ内でサポートされている機能を素早く特定できます。機能またはリリースごとに検索できます。リリース セクションでは、各リリースを横に並べて比較し、各ソフトウェア リリースに固有の機能と共通機能の両方を表示できます。

Cisco Feature Navigator にアクセスするには、Cisco.com のアカウントが必要です。アカウント情報を忘れたり、紛失したりした場合は、空の E メールを cco-locksmith@cisco.com に送信してください。自動チェックによって、E メール アドレスが Cisco.com に登録されているかどうかを確認されます。チェックが正常に終了したら、ランダムな新しいパスワードとともにアカウントの詳細が E メールで届きます。資格のあるユーザは、<http://www.cisco.com/register> にある指示に従って、Cisco.com 上にアカウントを作成できます。

Cisco Feature Navigator は定期的に更新されています (Cisco IOS ソフトウェアの主要なリリース時およびテクノロジー リリース時)。最新情報については、次の URL から Cisco Feature Navigator ホームページにアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/fn>

コマンドリファレンス

次に示すコマンドは、このモジュールに記載されている機能または機能群において、新たに導入または変更されたものです。これらのコマンドの詳細については、『*Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/ios/fundamentals/command/reference/cf_book.html) を参照してください。すべての Cisco IOS コマンドの詳細については、<http://tools.cisco.com/Support/CLILookup> にある Command Lookup Tool を使用するか、または『*Cisco IOS Master Commands List*』を参照してください。

- **ip rcmd remote-host**

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at www.cisco.com/go/trademarks. Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2007 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2007–2011, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.

■ コマンドリファレンス